

遠藤れい子の県政だより



○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3丁目1-3 TEL0258-32-1741 Fax0258-32-6443
○県議会執務室 〒950-0965 新潟市中央区新光町4-1 県議会内 TEL025-280-5475

*「遠藤れい子の県政だより」は、政務活動費を活用して発行しています。

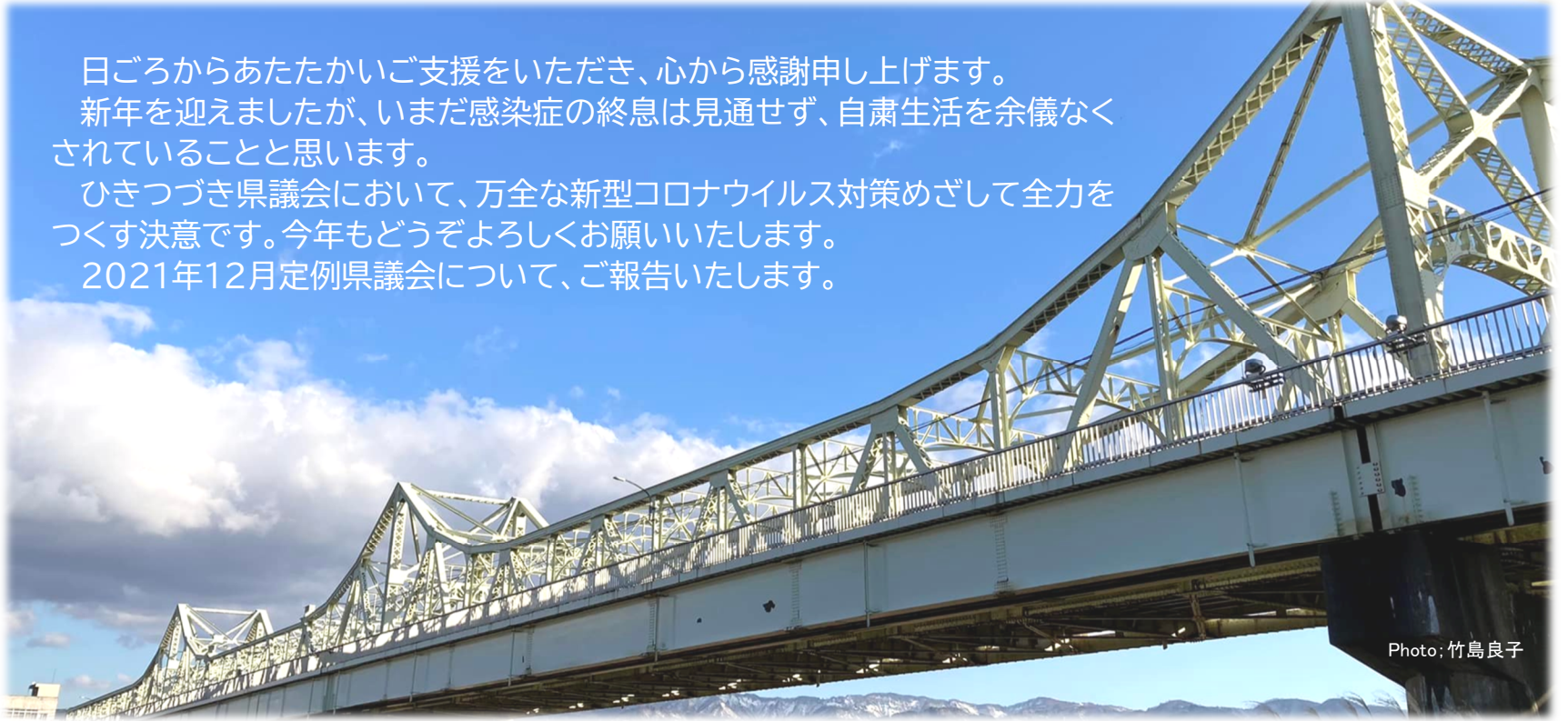


Photo: 竹島良子

日ごろからあたたかいご支援をいただき、心から感謝申し上げます。
新年を迎えましたが、いまだ感染症の終息は見通せず、自粛生活を余儀なくされていることと思います。
ひきつづき県議会において、万全な新型コロナウイルス対策めざして全力をつくす決意です。今年もどうぞよろしくお願いたします。
2021年12月定例県議会について、ご報告いたします。

感染症禍で病床削減ともなう医療再編は進めるな 不足している医師の確保に全力を



本県の人口10万人当たりの医療資源は、医師数全国最下位、病床数は全国平均1032床に比べ992床、ICU(集中治療室)は全国平均5床に比べて1.4床と、どの指標でも全国ワーストクラスです。

新型コロナウイルス感染症で弱い弱性が一層明らかになり、県民の不安も高まっています。

にもかかわらず県は、さらなる病床削減を含む医療再編を積極的に推進しているのは大きな問題です。

今行うべきは、不足している医師の確保対策に全力をつくすことではありませんか。



医師や看護師の確保は一朝一夕には解決できない課題であり、

全力で取り組んでおります。

同時に、新型コロナウイルス感染症禍にあっても、医療ニーズの変化や医師の働き方改革など、中長期的見通しは変わっておらず、持続可能な医療提供体制の構築にむけ

て、地域医療構想にそって医療再編を進めてまいります。

2020年3月に県が策定した「医師確保計画」では、2036年

までの必要医師数1534人で、年間不足養成数は109人と明記しています。県自身

聞こえのバリアフリーへ、加齢性難聴者の補聴器購入費補助の実現を

東京五輪の「アクセシビリティ」が掲げられ、すべての競技会場にヒアリンググループ(難聴者の聞こえを支援する設備)が設置されるなど、聞こえのバリアフリー(障壁除去)の考えが広がっています。

動脈硬化等による加齢性難聴で補聴器を使用することは、高齢者の社会参加の促進に不可欠となっています。

すでに県内の11市町村で補聴器購入費への補助制度が導入されており、県としても支援制度を創設すべきではあ

が作った計画にそって、県内の医師数を全国並みに確保して、余裕を持った医療資源を整備することこそ最重要課題ではありませんか。

おっしゃるとおり、医師確保に全力をあげて取り組みたいと思います。

りませんか。

補聴器購入にかかる県の支援ということですが、補聴器購入にかかる費用は、高齢者や身体機能が低下した社会生活上の支援を行うことは、重要であると考えています。

国は、認知症予防のための補聴器導入の有効性という観点で現在、研究が行われているところであり、引き続きこの動向を注視するとともに、すでに支援を開始した県内市町村の状況も確認した上で、何らか必要な対応をとってまいります。

いりたいと考えております。

遠藤れい子県議が12月15日、県議会連合委員会で、花角知事に対して行なった質疑：「柏崎刈羽原発の安全性について」…の概要をお知らせします。

東電・柏崎刈羽原発の不適切事案は 県技術委員会ですっかり確認せよ

遠藤 東京電力は、柏崎刈羽原発における「D不正使用問題や核物質防護施設の不備問題について、原子力規制委員会に報告書を出し（9月22日）、規制委員会は問題解明に「1年ほどかかる」としています。

これは安全重要度評価の指標で最悪の「赤」と評価され、県民の安全に直結する問題であるだけに、多くの県民が成り行きを見守っております。

また原子力規制委員会に対して、この問題をはっきり確認せよ

見逃して新規制基準に合格させたのではないかと不信を抱いています。

原因と責任の解明、万全な事後対策について、東電および規制委員会から、調査の節々で、県技術委員会ですっかり確認を受けてしっかりと確認するように強く求めたいと考えますが、所見を伺います。

知事

核物質防護に関する一連の不適切事案に対する対応ということであり、さまざまな制約があるか

もしも、可能な限り、技術委員会ですっかり確認してまいりたいと思います。

遠藤

6号機の大物搬入建屋を支える杭で、中越沖地震（2007年）が原因とみられる損傷が14年以上も放置されてきた問題について、なぜこのような大きな損傷が生じたのか。原因究明を行うとともに、適切な対策が講じられるよう東電と規制委員会に強く求めていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

知事

東京電力に対して原因の究明と対策をしっかりとるよう要請しており、現在東京電力が原因を調査しているところです。

また、原子力規制委員会は今後、設計、工事計画の審査のなかで確認していくと聞いています。これらの結果を技術委員会ですっかり確認してまいりたいと思います。

1. 事象概要

■概要
確認日：2021年7月9日（金）
場所：6号機原子炉建屋東側ヤード
状況：新規制基準対応の6号機大物搬入建屋耐震強化工事において、建屋下の掘削作業を行っていたところ、大物搬入建屋南東側の既存鉄筋コンクリート杭（以下、杭）No.8で損傷（ひび割れ、剥落、浮き）を確認した。

■時系列
2021年3月10日 建屋下掘削作業開始
7月 9日 No.8 杭の一部の損傷を確認
7月 27日 作業の安全性を確認し、No.8の杭の調査を再開
8月 5日 No.8 杭の鉄筋の変形・破断を確認
以降、すべての杭の調査を開始し、現在も継続中



TEPCO © Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved. 3



東京電力ホールディングス(TEPCO)のホームページより



水底に泥がたまり雑草が生えて排水の悪い調整池

洪水被害を防止するための調整池が、逆に浸水被害の原因に…

中之島みずほ団地の調整池を視察



みずほ団地のTさんから、「豪雨の時、調整池の排水路があふれ床下浸水している」「調整池は泥がたまり草が生い茂って機能しない」と相談がありました。

遠藤れい子県議は12月19日、諸橋虎雄市議とともにさっそく現地を視察。12月24日、長岡市中之島支所長、産業建設課長らと面談し、あらためて状況を伝えて、解決を強く要請しました。

支所長らは「当面、可搬式ポンプの精度を上げて対応したい」「3月下旬ころ、町内のみなさんに説明したい」と答えました。問題解決が強く求められます。



雪の越後三山 (Photo: 竹島良子)